

令和5(2023)年度(令和4(2022)年度実施事業)行政評価の結果公表

企画政策課 ☎32-8005 FAX76-5021

行政評価の概要と令和5(2023)年度に実施した令和4(2022)年度分の評価結果をお知らせします。



ホームページ

行政評価の概要

行政評価とは

市が目指す将来像の実現に向けて行政が行うさまざまな活動(行政活動)について、客観的に判断できる値をもとに事業の評価・検証を行うことです。



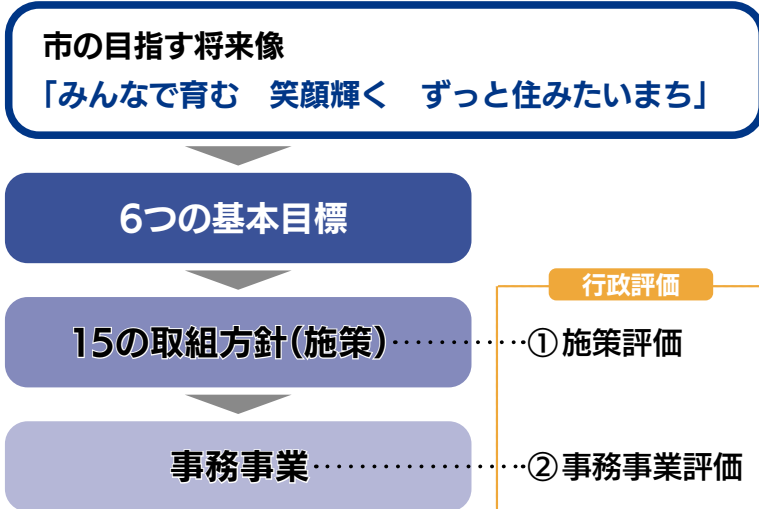
行政評価の目的

- 各事業の目的や方法を見直し、継続的に行政サービスの向上を図ること
- 施策、事務事業の評価内容を公表し、市民への説明責任の徹底と行政の透明性を確保すること
- 市職員の意識改革を促すこと

施策評価と事務事業評価

第2次みよし市総合計画で掲げた将来像「みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち」を実現するため、6つの「基本目標」とその基本目標を達成するための15の「取組方針(施策)」を定めています。さらに、各施策を達成するためにさまざまな「事務事業」を行っています。

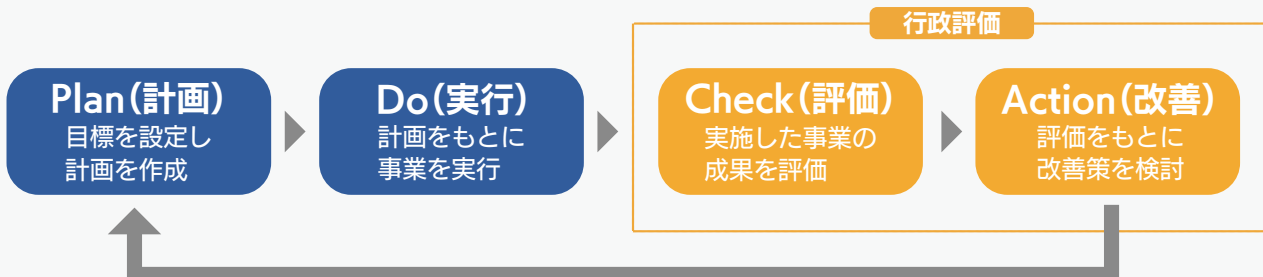
行政評価では「取組方針(施策)」について評価を行う「①施策評価」と、「事務事業」について評価を行う「②事務事業評価」を行っています。(右ページ参照)



PDCAサイクルと行政評価の役割

PDCAサイクル(下図参照)とは、Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)という手順を繰り返すことで、業務などを継続的に改善する考え方

です。市の施策や事務事業に対して、行政活動の量だけではなく成果を重視した評価を行うことで、さらに効果的・効率的に行政活動を行えるようにしています。



評価結果① 施策評価

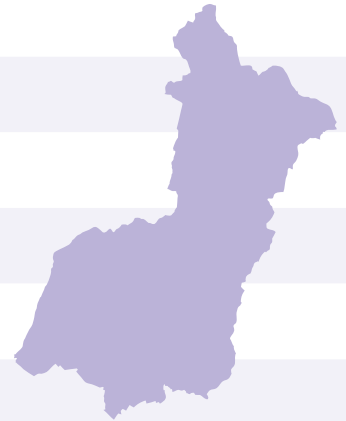
市のこれまでの取り組みに対する評価や市民アンケート調査の結果をもとに、次年度の重点施策を決定しました。



施策評価結果

■令和6(2024)年度の重点施策

① 安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう	▪ 子育て支援	▪ 家庭教育
② 心豊かな子どもを育てよう	▪ 小中学校教育	
③ 豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう	▪ 地域福祉	
④ 地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう	▪ 防災・減災	
⑤ 工業のさらなる成長を支えよう	▪ 工業	
⑥ まちのにぎわいや魅力を生み出そう	▪ 商業	
⑦ 環境にやさしいまちにしよう	▪ 地球環境の保全	
⑧ 便利で快適な住環境をつくろう	▪ 道路	
⑨ 効果的・効率的で安定した行財政運営	▪ 行政組織	▪ 行政改革・行政評価
		▪ 財政



評価結果② 事務事業評価

事業の対象と成果を数値化し「目的妥当性」「有効性」「効率性」「公平性」の観点から評価を行いました。評価は市の職員が自ら行う「内部評価」と、外部の有識者が行う「外部評価」の2つの視点で行っています。



事務事業
評価結果

【内部評価結果】

令和5(2023)年度は、令和4(2022)年度に実施した443の評価対象となる事業について評価を行い、現在も実施されている388の事業について「事業の方向性」を決定しました。ここで決定した「事業の方向性」は、予算編成を行う際の判断材料として活用しています。

【外部評価結果】

市では、より客観的に事業の必要性や効率性を評価・検証するために、外部の有識者で組織される行政評価委員会を設置しています。令和5(2023)年度は、令和4(2022)年度に実施した443の評価対象となる事務事業から4つを選定し、内部評価の見直しの検討が行われました。

事業の方向性		事務事業数	割合
現状維持		324	83.5%
見直し	拡大	30	7.7%
	改善	23	5.9%
	統合	2	0.5%
	縮小	4	1.0%
廃止・休止		5	1.3%
計		388	100%

事務事業名	内部評価	外部評価
スポーツ教室開催事業	改善	改善
コミュニティ広場管理運営事業	現状維持	現状維持
職員研修事業	拡大	拡大
ICT推進事業	拡大	拡大

児童特別給付金の支給 こども政策課 ☎32-8034 ㊚76-5103

令和4(2022)年6月から児童手当法の一部改正により所得上限限度額が設けられ、児童を養育する人の所得が所得上限限度額以上の場合、児童手当または特例給付(以下「児童手当等」という)は支給されていません。そこで本市では子育て世帯を支援するための独自施策として、支給対象外となった子育て世帯にも一律の特例給付相当分の給付金(月額5,000円)を支給します。



ホームページ

【対象児童】

平成20(2008)年4月2日～令和5(2023)年6月1日に生まれた児童

【支給対象者】

下記の①～③のいずれかに該当する人

- ①令和5(2023)年度の児童手当現況審査または認定審査において令和5(2023)年度の所得が所得上限限度額以上で令和5(2023)年度児童手当等の支給対象外となった
- ②①の支給対象者要件に該当する公務員
- ③令和4(2022)年度の児童手当現況審査または認定請求において令和4(2022)年度の所得が所得上限限度額以上で令和4(2022)年度児童手当等の支給対象外となり、かつ令和5(2023)年度の所得が所得上限限度額以上であることが分かり、令和5(2023)年度児童手当等の支給対象外となる(公務員を含む)

【支給条件】

支給対象者が基準日(令和5(2023)年6月1日)に市内に住民登録があること

【給付額】

対象児童1人当たり6万円(平成20(2008)年4月2日～平成21(2009)年4月1日に生まれた児童は、児童1人当たり5万円)

【申請】

①に該当する人…不要(支給対象者へ1月下旬に案内を送付済み)、②③に該当する人…3月15日(金)までに申請書(ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入し、必要書類を添付してこども政策課へ郵送(当日消印有効)、または直接

※公務員で支給対象者・支給条件に該当する人は、必ず申請が必要です。

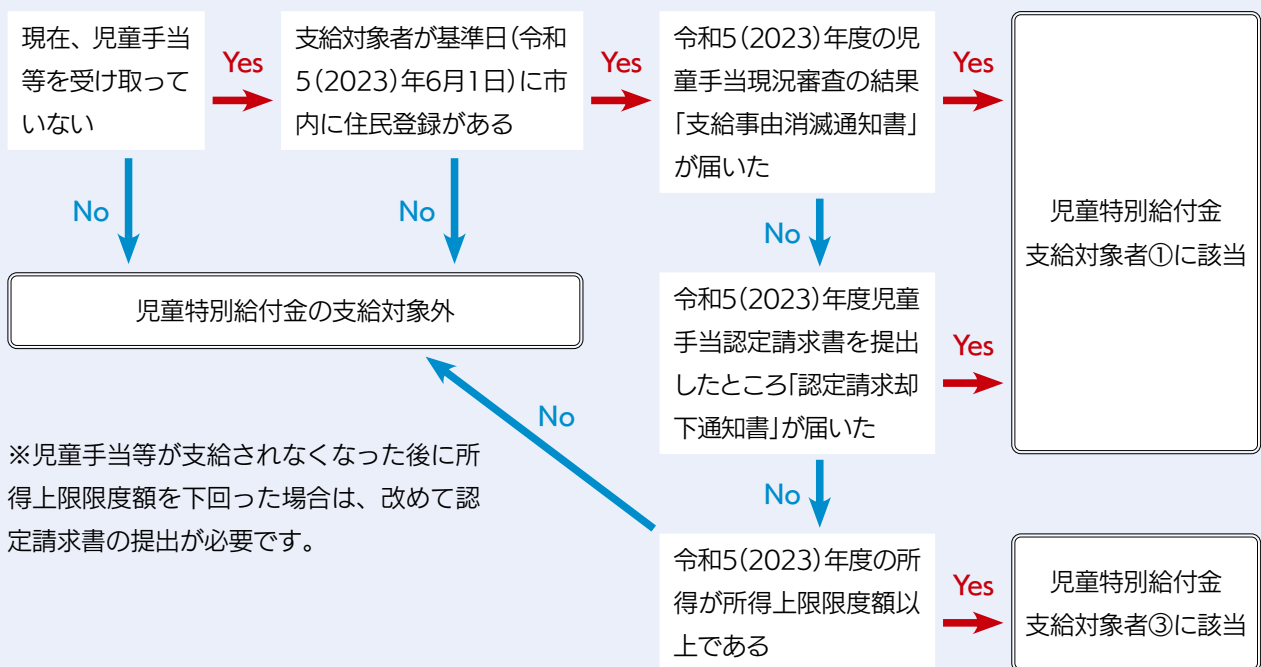
【支給日】

①に該当する人…2月9日(金)、②③に該当する人…提出書類を審査し支給決定後、速やかに支給

※令和4(2022)年度所得とは令和3(2021)年1月1日から12月31日までの所得、令和5(2023)年度所得とは令和4(2022)年1月1日から12月31日までの所得を指します。

対象確認フローチャート

【スタート】



高校生世代物価高騰対策支援事業

こども政策課 ☎32-8034 FAX76-5103

全国的な物価高騰による食費の負担軽減を図るため、高校生世代におこめ券を配布します。

【配布対象者】

平成17(2005)年4月2日～平成20(2008)年4月1日に生まれた人で、基準日(令和5(2023)年12月1日)に市内に住民登録がある人

【配布内容】

1人当たり10枚分のおこめ券(4,400円相当)

【配布方法】

2月上旬から配布対象者へ郵送

※申請は不要です。



ホームページ

「家庭の日～家族へのメッセージ～」優秀作品

こども政策課 ☎32-8034 FAX76-5103

「家族に伝えたい自分の思い、この機会に伝えたい私の思い」をテーマに募集した「家庭の日～家族へのメッセージ～」に561人からのご応募をいただきました。審査の結果、最優秀賞と優秀賞に輝いた作品を紹介します。



家庭の日県民運動

スローガン「親と子の 対話がつくる よい家庭」

愛知県ではこどもの健やかな成長を願い、家族みんなが顔をそろえて触れ合いを深めていくための日として、毎月第3日曜日を「家庭の日」とし、また毎年2月を強調月間としています。



最優秀賞

みんなのソファー いつもギュウギュウ なかよしだ

藤井 海帆さん(小学生)

ありがとう 段々と減る この五文字 いつか必ず ちゃんと伝える

宮部 咲良さん(中学生)

夕食後に兄がはじめだす家族のクイズ大会はだいたい負ける、でも楽しいよ。

五頭 瑠菜さん(中学生)



優秀賞

めでたい日はからあげ。もし失敗しても、挑戦したことがめでたいからからあげ。

林 莉緒さん(中学生)

がんばるとほめてくれる母の温かみ。一歩踏み出すとき背中押してくれる父の優しさ。

原田 心晴さん(中学生)

市税などの納期

納税課 ☎32-8051 FAX32-2585

(普)…普通徴収

市税などの納付は便利で安心な口座振替をご利用ください。
※口座振替は市内の指定金融機関へ直接お申し込みください。市外の本支店などで申し込む場合は納税課までご連絡ください。

区分	納付期限
固定資産税・都市計画税	4期 2月29日
国民健康保険税(普)	8期 2月29日
後期高齢者医療保険料(普)	
介護保険料(普)	

みよし市の人口

(令和6(2024)年1月1日現在)

人口 61,427人(-39人)
男性 31,468人(-22人)
女性 29,959人(-17人)
世帯数 25,706世帯(-31世帯)

※()は前月比

新たな町の名称が決定しました

総務課 ☎32-8000 FAX32-2165

筋生山田地区で定めた地区計画の区域について、次のとおり名称が決定しました。

【現在の区域】

筋生町山田および曙の各一部

【新たな町の名称】

みよしがおかみどりろくろちょうめ
三好丘緑六丁目

【効力発生日】

令和6(2024)年4月1日(月)



ホストファミリーを募集します

秘書広報課 ☎32-8032 FAX34-6008

市と友好都市提携を結んでいるアメリカ合衆国インディアナ州コロンバス市の高校生12人が、本市を訪問します。ホームステイ先となっただけの家庭を募集します。



ホームページ

【受け入れ期間】

6月10日(月)～17日(月)の7泊8日間

【受け入れ人数】

高校生12人(ホストファミリー1家庭につき高校生1人の受け入れ)

【申し込み】

3月1日(金)までにホームページ内申し込みフォームから

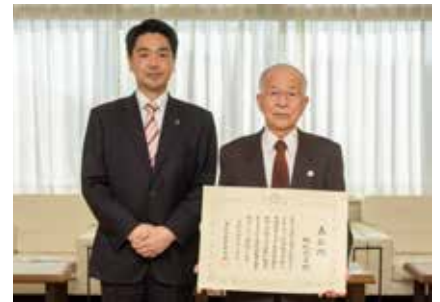


▲平成30(2018)年度の来訪時

愛知県教育表彰受賞報告会

生涯学習推進課 ☎34-3111 FAX34-3114

12月6日、愛知県教育表彰を受賞したみよし市社会教育委員長の秋松成喜あきまつせいきさんが市役所を訪れ、小山祐市長おやまたすくに受賞を報告しました。この表彰は社会教育活動の推進や発展に努め、社会教育の振興に貢献した功績が評価されたもの。秋松さんは「周りの皆さんのおかげでこのような表彰を受けることができました」と話し、小山市長は「これからも秋松さんの知識や経験、知見を生かし、市にお力添えをいただきたいです」と祝福の言葉を贈りました。



防災行政無線などを用いた全国一斉伝達訓練

防災安全課 ☎32-8046 FAX76-5702

2月9日(金) 11:00



全国瞬時警報システムジエイ(Jアラート)の伝達訓練が2月9日(金)11:00に全国一斉に行われます。

Jアラートとは、自然災害や武力攻撃など、皆さんの安全に関わる情報をいち早くお届けするために整備されたものです。市では、市内57カ所の防災行政無線・防災ラジオ・登録型の情報配信サービス「みよし安心ネット」を用いて情報伝達を行います。

※全国的な気象状況などにより、訓練を予告なく中止する場合があります。

能登半島地震に対する支援 防災安全課 ☎32-8046 FAX76-5702 福祉課 ☎32-8010 FAX34-3388

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

本市から救援物資を輸送しました

本市と災害支援協定を締結しているみよし商工会の運輸分科会・建設部会の協力を得て、1月4日(木)に非常食や飲料水、毛布、簡易組み立てトイレなどを石川県内の災害支援物資集積拠点へ、5日(金)にA型パレットやカラーコーン、点滅灯、ブルーシートなどを

富山県高岡市へ、それぞれ輸送しました。また16日(火)には市から日本赤十字社の各支部(石川県・富山県・新潟県)へ総額200万円の義援金を寄付しました。詳細はホームページをご覧ください。



ホームページ



義援金の募金箱を設置しています

市民の皆さんからの義援金を受け付けています。お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて被災地へ届けられます。また日本赤十字社では、義援金を銀行振り込みでも受け付けています。詳細はホームページをご覧ください。



ホームページ

【設置場所】

- 市役所1階総合案内 ●市役所1階福祉課窓口
- 市民情報サービスセンター「サンネット」
- 図書館学習交流プラザ「サンライズ」1階総合案内
- おおよし交流センター
- 三好公園総合体育館(2月29日(木)までは柔道場に、3月1日(金)からは総合体育館窓口に設置)



街頭募金活動を実施しました

1月12日(金)、社会福祉協議会と三好高校が協力してベイシア三好店で街頭募金活動が実施されました。これにより3万9,068円もの義援金が集まり、みよし市共同募金委員会を通じて被災地へ寄付されました。



火葬場について考える講演会 企画政策課 ☎32-8005 FAX76-5021

超高齢社会を迎え、火葬件数の増加による火葬場の逼迫や都市部で深刻化する火葬待ちが全国的な問題となっています。本市の火葬の現状をお知らせするとともに、火葬場への理解を深め考える機会としていただくための講演会を開催します。

内容 講演「吊う空間としての火葬場を考える」

日時 2月10日(土) ①10:00~12:00、②14:00~16:00

場所 ①おおよし交流センター1階ホール、②打越公民館1階大ホール

講師 一般社団法人火葬研究会長の武田至さん

対象 どなたでも可 **申込** 不要。当日、会場へ直接

特別職報酬等審議会の答申 人事課 ☎32-8351 FAX32-2165

市長、副市長などの給料の額や市議会議員の報酬の額に関する特別職報酬等審議会から答申がされました。

市長、副市長、教育長については据え置きとなり、市議会議員については右表のとおりです。

区分	現行の月額	改定後の月額	期末手当を含む年額
議長	496,000円	502,000円	8,498,860円
副議長	425,000円	430,000円	7,279,900円
常任委員長	397,000円	402,000円	6,805,860円
特別委員長	397,000円	402,000円	6,805,860円
議員	385,000円	390,000円	6,602,700円

みよし市民病院が開院60周年を迎えました

市民病院 管理課 ☎33-3300 FAX33-3308



いとうおさむ
▲伊藤治院長

院長あいさつ

本年1月、みよし市民病院は開院60周年を迎えました。地域の皆さまに支えられ、市民の健康に貢献することを使命としてここまでくることができました。「みよし市を愛し、みよし市民の健康に寄与することを誓います」が市民病院の理念。この理念を胸に、病院の持っている機能・機器を最大限に駆使して地域医療に役立つための努力を続けていきます。

新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、令和5(2023)年11月時点で総検査数16,027件・入院患者数230件の患者を受け入れました。今後も当院で対応可能な検査治療は確実に受けられる体制を整えていきます。また近隣のクリニックに通院している人でも当院のCT検査やMRI検査を受けることができる病院検査機器の共同利用を推進しています。さらに在宅医療では訪問診療を行っているクリニックの先生と連携し、緊急往診ができないときのバックアップ体制や体調悪化時の入院受け入れ体制を整えています。市民病院は病院単独ではなく、地域のクリニックの先生たちと連携し共同で地域医療を支えていく体制をつくり、これからも市民の皆さまの健康に寄与していきます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

60周年病院祭を開催します

本年の秋には60周年病院祭を企画しています。令和元(2019)年に開催した55周年病院祭では延べ2,500人の皆さんに会場にいらしてくださいました。今回は病院のお仕事体験や消防車の乗車体験、音楽やダンスなどのステージ公演、キッチンカーや縁日の出店などさまざまな企画がめじろ押し。詳細が決まり次第広報みよしなどでお知らせしますので、市民病院に来たことがない人もぜひご来場ください。



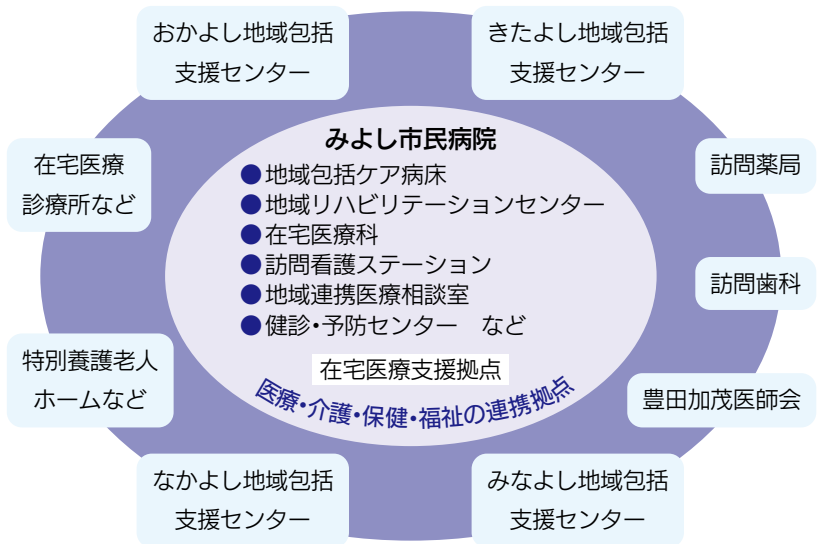
▲55周年病院祭の様子

市民病院の歴史

【病院移転前のあゆみ】	1964年1月	1974年9月	10月	1976年4月	1977年9月	1985年7月	1991年11月	1993年5月	1995年1月	4月	1999年11月	2000年2月	2001年3月	4月	5月
当時の診療所が三好町農業協同組合から三好町へ移管され三好町立三好診療所となる		入院の受け入れを開始(病床数18床)	小児科を開設	消化器科を開設	三好町立三好病院に改称(病床数56床)	耳鼻咽喉科を開設	皮膚科を開設	医療等施設建設整備特別委員会(三好町議会の設置)	新病院の移転先を決定	放射線科を開設	新病院の建設工事着手	医療等施設建設整備特別委員会にて電子カルテシステム導入を承認	新病院の建設工事完了	敷地内植樹祭(22日)、竣工式(28日)	三好町民病院として開院(7日)、病床数を50床増(計106床)、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科を開設

みよし市版地域包括ケアシステムの構築

みよし市民病院は、地域で高齢者や障がい者などが安心して長く暮らせる「地域包括ケアシステム」を推進しています。開院60周年を迎えた今、開院当時に比べて高齢者が増加傾向にあり地域全体で支えるためにも、市内の各地域包括支援センターや診療所などの医療施設とつながる連携拠点施設の整備が必要であると考えます。この連携拠点施設は病院機能を強化しつつリハビリ施設としての機能を保有しながら、予防接種、栄養指導など市民の健康についての相談窓口、また災害時の医療避難施設としても利用できるよう整備計画を進めています。



高齢者が入院すると、歩く・食べるなどの日常生活に必要な身体能力が大きく低下します。障がいがあり、退院後に福祉や介護の支援が必要な場合もあります。市民病院では今後リハビリテーション機能を大幅に増やし、地域と市民病院をつなぐハブ(中核)となる医療・介護・保健・福祉の連携拠点施設を設置し地域包括ケアシステムを構築することで、高齢者が住み慣れた家で人生の最期まで安心して暮らせるようになります。



なるせきとる
▲成瀬達事業管理者

【病院移転後のあゆみ】

年 月	事業内容
2003年10月	循環器科を開設
2006年11月	増築工事の着手
2007年4月	地方公営企業法の全部適用により、事業管理者を設置
9月	増築工事の完了
10月	シヨク科に作業療法を追加
2010年1月	市制施行に伴い「みよし市民病院」に名称変更(4日)
2011年3月	内視鏡室を拡張
4月	医療安全管理部を設置
2012年4月	地域連携・医療相談室を設置
2013年4月	健診室を設置
2018年4月	院内保育所の運営開始
2019年11月	みよし市民病院開院55周年記念病院祭を開催
2020年5月	新型コロナウイルス感染症検査室を設置
11月	新型コロナウイルス感染症入院病室を設置
2024年1月	開院60周年を迎える

